

ご協力ありがとうございました

1月に行いました保護者アンケート（2回目）には、御協力いただきありがとうございました。集計結果や御意見をもとに、引き続き今後の学校運営に生かして参りたいと考えております。

尚、アンケート集計数値結果については、1回目と同様、王司小ホームページへ掲載してあります。御覧ください。



おおきな学び関係 設問1~4

() 内の数は、児童アンケートにおける肯定率

設問1 お子さんは、自分の考えを友だちに説明したり、文章に書いたりすることが身についている。

- 肯定率約69%（81）で、前回より3ポイント下がっています（児童：±0）。10月より開始している昼学でのスピーチやフリートーク、百マス作文や視写といった表現力育成への取組の成果が、まだ十分には出ていないことも考えられます。日頃の授業を中心に、取組への見直しも行いながら、引き続き表現力の育成に力を入れていきます。

設問2 お子さんは、授業内容がわかっている。

- 肯定率約90%（93）で、前回より5ポイント上がっています（児童：プラス9）。学習のめあての提示、授業の振り返りの実施、練習問題への取組、ICT機器の導入等、日々の授業改善への取組の成果、さらには、児童の主体的に学習へ取り組む力の高まりが考えられます。引き続き授業改善に努め、さらなる向上を目指していきます。

設問3 お子さんは、毎日、家庭学習をしている。

- 肯定率約73%（84）で、前回より6ポイント下がっています（児童：-3）。家庭で取り組んだ自学の様子を見てもらおうと、校長室へ自学ノートを持って行く。児童がたくさんいます。前回も述べましたが、家庭学習の習慣は、学力をつけるだけでなく決められたことをきちんとする力も育まれるため、保護者の方と協力しながら粘り強く指導してまいります。自学の取組では、学期に1冊以上終わらせることを目標にしています。学習の質も高められるように努めてまいります。

設問4 お子さんは、本を読むことが好きである。

- 肯定率約51%（80）で、前回より1ポイント下がっています（児童：-1）。前回同様、児童アンケートの結果と比べると、保護者の肯定率が低い項目です。毎週月曜日の昼学は「読書」の時間になっています。また、図書委員会の取組で、本を借りて40冊読んだ児童には、「読書の木」に自分の名前を書いた「りんご」を貼るようになっています。その読書の木もたくさんのおりんごが実りました。読書に親しむ習慣が身につくよう、今後も学校と家庭とで連携して取り組んでいきます。

うつくしい心関係 設問5~7

設問5 お子さんは、家庭や地域で、あいさつをする習慣が身についている。

- 肯定率77%（91）で、前回と同じです（児童：-2）。肯定率を100%にしたい項目です。「朝の登校時、あまりあいさつをしない」「人前であいさつすることが苦手」「同じ王司地区でも、中学生はあいさつをしてくれる」といった御意見をいただいています。引き続き、あいさつの意義を児童にしっかりと伝えていくとともに、大人が模範となるべく、学校、家庭、地域とで連携して取り組んでいきます。

設問6 お子さんは、友だちや周りの人たちに思いやりの心をもって接している。

- 肯定率88%（94）で、前回より3ポイント下がっています（児童：-1）が、前回同様、児童、保護者ともに肯定率の高い項目です。しかし、「いじめ0」を目指すことを考える上、肯定率を100%にしたい項目です。前回も述べました通り、日々起ころうとするトラブルに対し、それが重大ないじめにつながらないよう、全職員で未然防止・早期対応に努め、指導を続けてまいります。併せて、道德教育を中心に児童の心の教育をしっかりとしていきます。

設問7 お子さんは、物を大切に扱い、整理整頓をする習慣が身についている。

- 肯定率約48%（89）で、3ポイント下がっています（児童：-2）。前回同様、児童アンケートでは「掃除」についての設問になっているため、一概に比較はできませんが、保護者の肯定率が低い項目です。引き続き、家庭との連携を図るとともに、全教育活動を通して、児童に模範を示しながら根気強く指導を続けてまいります。

じょうぶな体関係 設問8~9

設問8 お子さんは、晴れた日はすすんで外遊びをしている。

→ 肯定率58%（78）で、前回より3ポイント下がっています（児童：-2）。前回同様、児童アンケートにおいて最も低い値を示した項目です。前回述べました要因「ゲームや動画配信の普及」「遊ぶ仲間や場所の減少」「新型コロナウイルスの影響」に「寒さ」が加わり、室内で過ごしたいと思う児童が増えています。体育の学習において、運動場で十分に体を動かす時間を確保するとともに、晴れた日は、しっかりと外で遊ぶよう声かけをしていきます。

設問9 お子さんは、エチケット3点セット（ハンカチ、ティッシュ、つめ）に気をつけて生活している。

→ 肯定率約79%（91）で、前回より1ポイント下がっています（児童：-1）。毎朝各学級でチェック、週毎に保健委員会が集計をし、お昼の放送で結果を伝えていきます。2年生と6年生の定着率が少し低いようです。引き続き家庭との連携の基、意識付けを図っていきます。また、前回同様、ハンカチを持ってきていても手洗いの際等に使用していない児童がいます。この点についても併せて指導していきます。

本校の課題関係 設問10~14

設問10 お子さんは、早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身についている。

→ 肯定率約79%（80）で、前回より3ポイント下がっています（児童：-3）。冬の時期は、朝が寒い上に暗いため、行動が鈍る傾向にあります。家庭での指導が大きく影響を及ぼします。引き続き学校でも、規則正しく生活することの大切さについて、養護教諭とも連携しながら、繰り返し児童に伝えていきます。

設問11 お子さんは、話をしっかり聞こうとする習慣が身についている。

→ 肯定率約68%（90）で、前回より1ポイント下がっています（児童：-1）。教職員の肯定率は、42%から50%へ上がっているものの、前回同様、保護者の肯定率に加えて、教職員の肯定率も低い項目です。引き続き全教育活動を通して、聞くことの大切さを伝えていきます。さらに、水曜日の昼学「話す活動」を中心に、聞く態度として「話し手の方を向く」ことが身につくよう指導を続けていきます。

設問12 お子さんは、夢や目標をもってがんばっている。

→ 肯定率約60%（86）で、前回より3ポイント上がっています（児童：-1）。全ての児童が、将来、希望をもって夢や目標を追い求めていくことができるよう、自分のよさや可能性の発見につなげるべく、児童一人一人の個性を大切にされた教育活動に取り組んでいきます。

設問13 本校は、体験的な学習や地域の特色を生かした教育活動を行うなど、コミュニティ・スクールとして地域とともにある学校づくりを推進している。

→ 肯定率約79%で、前回より2ポイント上がっていますが、昨年度（83%）と比べると低くなっています。前回述べた通り、今年度は、新型コロナウイルスの影響で多くの行事が中止になっています。それでも、「王司地区ふるさと協育ネット」や「たんぼぼのはら」を中心に、「王司自慢かるたづくり（3年生）」や「本の読み聞かせ（全学年）」等、できる範囲で、子ども達のための取組を実施することができました。来年度以降、肯定率90%以上を目指して、今後も推進していきます。

設問14 本校は、学校だよりやホームページなどを通して、学校の方針や情報を分かりやすく伝えている。

→ 肯定率約85%で、前回より1ポイント上がっています。「行事予定のお知らせがホームページに早めに上げてあるので助かる」「ホームページが充実していてとてもうれしい」「学年だより等、全てのプリントをホームページで見られるようにしてほしい」「下校時刻が分かりづらい」といった御意見をいただいています。さらに、保護者や地域の方々からのニーズに応える情報を発信していけるよう努めていきます。

その他

行事について、以下のような御意見をいただいています。

- ・ 新型コロナウイルスの影響で、楽しみにしている行事等がなくなっているのでは、お楽しみ会等、モチベーションが上がるようなものが定期的にあるとよい。
 - ・ 学年発表会等、もっと親子の時間を増やしてほしい。
 - ・ コロナ禍でも、大きい行事（運動会等）を縮小してやってほしい。
- 新学習指導要領の内容を確実に取り組んでいくために、まずは日々の授業を充実させることに重点を置きます。そのため、行事の在り方もこれまでとは少し違った内容や形になっていくこととなります。その都度しっかりと趣旨を説明していきたく思いますので、御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

他にも、学習、登校班、学級通信、地域連携等、いろいろと御意見をいただいています。学校に対する疑問や御意見については今後も検討を重ね、関係機関とも連携を図りながらよりよき方向へ改善していきたく考えています。今後もお気づき等がございましたら、御意見をお聞かせください。